

NEWS

Niigata University of Health and Welfare
Teaching Career Support Center

LETTER

CONTENTS

1. 巻頭言：困難なことに挑戦することを楽しめる力！
2. 2019年度の活動を振り返って
3. 教職支援センターの1コマ
4. お知らせ/今後の予定①
5. 2019年実施 教員採用試験結果/合格者へのスペシャルインタビュー
6. お知らせ/今後の予定②
7. 編集後記



困難なことに挑戦することを楽しめる力！

教職支援センター運営委員 脇野 哲郎 (健康スポーツ学科)



「これからの学校現場が求める人材（力量）とは？」の問いに対する答えとして、どのようなものがあげられるでしょうか？

各都道府県の資料でよく見られるのは「児童生徒理解力」「授業力」「マネジメント力」「連携力」「協同力」「総合的人間力」などです。これはあえて言えば仕事の内容に直接関係する力です。また、「柔軟性」「コミュニケーション力」「バランス感覚＝折り合いをつける力」

「多様性を受け止める力」など、どの場面でも求められる力もあります。このような力はもちろん大事ですが、私が最も重要かつ根本的な力だと考えるのは「困難なことに挑戦することを楽しめる力」です。なぜか？その主な理由は3つです。

理由1：簡単に解決できないことが多いから

これは、どんな職業でも同じです。苦しいことや辛いことは必ずあります。これからの教師（学校）は解決が難しい課題がさらに増えます。特に、多様なニーズをもつ子どもや保護者に丁寧に対応する必要があります。簡単に解決しないことも多くなります。成就感よりも、悩み、迷うことが多くなります。そんな中でも、子どもたちのわずかな成果を喜びつつ、諦めずに課題を解決しよ

うとする前向きな姿勢が不可欠です。

理由2：解決できなくても喜びが得られるから

簡単に解決できなくても、学校は子どもの成長を日々身近に感じられます。それが、困難なことに立ち向かうパワーになります。他の職業では経験や実感はなかなかないことです。子どもがこの力を引き出してくれます。

理由3：失敗しても何度でも挑戦できる仕事だから

授業を例にすると、毎回一生懸命授業準備をしても授業が終わると「この教材は子どもたちに少し合わなかったな」「この発問は少し難しかったな」などの課題が浮き彫りになります。その度に「次の授業ではこうしよう」「子どもたちとの接し方を変えてみよう」と反省→改善し次の授業に臨みます。このようなサイクルは授業だけでなく子どもたちと学校生活を共にすることで必ず生じてきます。教師という仕事は自分で工夫ができる範囲が多く、またそのような工夫が求められます。そして、そういったところにやりがいを感じられると教師として成長できるでしょう。

このような理由から私は「困難なことに挑戦することを楽しめる力」が重要だと考えます。教師という職業ならではの力と言えます。さあ、皆さん頑張ってください。

2019年度の活動を振り返って

教職支援センターでは2019年度も教職関連イベントを各種実施いたしました。1～3年生に対し6月18日（火）に教員採用試験対策オリエンテーションを実施し、3学科から67名の学生が教員採用試験とは何か、その概要について学びました。夏期休業期間中は教員採用試験受験者に対し人物評価試験対策を実施し、希望学生がそれぞれ指導を受け本番に臨み、指導は総計133コマに及びました。11月21日（木）には今年度教員採用試験に合格した4年生4名、卒業生1名をゲストスピーカーとした「合格者の声を聴く会」を開催し、27名の学生が参加しました。この他、教職支援センターでは、今後も各種イベントを計画していきます！



教職支援センターの1コマ

教員採用試験に向け、教職支援センターでは6月下旬から9月中旬にかけて、人物評価試験対策講座を開講しています。この講座では、採用検査を受験予定の学生が、教員を試験官に見立て、個人面接や模擬授業、場面指導などの対策を行うものです。今回は、8月8日（木）に開催された「スペシャル講座」についてご紹介します。

スペシャル講座では、2次試験の直前に、個人面接、場面指導等およびその後の指導を“公開”して行い、指導内容を共有します。今回は、3名の学生と2名の卒業生の計5名が公開指導を受け、10名の学生がその様子を観察しました。指導を受けた学生からは、「大人数の前で発表したことで、本番はあまり緊張せずに話すことができた」「自分の指導を多くの方に見てもらい、色々なアドバイスを貰うことができた」といった声がありました。また、観察した学生にとっても他の人の面接を見ることで自らも学ぶことができ、貴重な経験になったようです。



お知らせ/今後の予定①



▶教職担当教員による教員採用試験対策 学内講座

10月～2月にかけて、各種講座を開講中です。

場所：教職支援センター（一部第2体育館）

3年生を中心に積極的にご参加ください。1～2年生も歓迎します。

月：授業づくり5限・教職教養（基礎）6限

火：論文作成演習4限

水：面接対策4限

木：教育課題4限・実技（保健体育・小学校教諭向け）5限

金：総合演習Ⅰ（栄養教諭向け）調整開催



▶協同出版による教員採用試験対策学内講座

8日間25コマを実施いたします。場所：D207

※申込み受付は終了いたしました

一般教養・教職教養演習：11月11日（月）・12月16日（月）6限

教職教養講座：3月10日（火）～12日（木）2～5限

一般教養講座：3月13日（金）～18日（水）2～5限

3月19日（木）2～4限

2019年実施 教員採用試験結果

現役合格者8名輩出！卒業生9名合格！

今年度実施された教員採用試験において、健康スポーツ学科7名（中学校・高等学校保健体育教諭1名、小学校教諭6名）、看護学科1名（養護教諭）計8名の現役合格者を輩出いたしました。また、3学科の卒業生9名からも合格の報告が届いております。今回現役合格した3名、そして昨年度合格した卒業生（現職教員）のスペシャルインタビューをお届けいたします！

合格者へのスペシャルインタビュー

①教員を目指した理由は何ですか？ ②教員採用試験に向けてどんな取り組みをしましたか？ ③後輩へのアドバイスをどうぞ！



富山県
中学校・高等学校教諭
(保健体育)
合格

Hさん

①高校時代の野球部の恩師への憧れや恩返しと感謝の気持ち、自身もスポーツを通し人の成長を支えたいと思ったからです。

②『学内講座』に積極的に参加し教職の先生方にサポートしていただきました。モチベーションを上げるため、仲間と励まし合いながら勉強会も行いました。

③教採には直接結びつかないと思う部活動やアルバイトなども、一生懸命取り組んでいれば必ず自分の力や自信となって報われる日が来ます。自分一人では上手くいかなくても**多くの人を頼って下さい。本学にはサポートしてくれる人が沢山います。**



福島県
小学校教諭
合格

Mさん

①部活動指導を行いたく、高校の保健体育教師を目指したことがきっかけでしたが、大学で多くのことを学び基礎学力・基礎体力を高め、**子どもたちの可能性を広げたい**と思い、小学校を目指すようになりました。

②友人と日々励まし合いながら勉強を頑張りました。また学内講座に参加したり、積極的に個別指導を受けたりすることをお勧めします。

③勉強も遊びも大学生活全てにおいて**全力で取り組んでください。**その積み重ねが皆さんの力になります。応援しています。



新潟県
養護教諭
合格

Sさん

①看護師の母がおり、幼い頃から看護に興味がありました。**子どもと接することが好き**なので、どちらにも携われる仕事がしたいと思い、養護教諭を目指しました。

②1次は専門科目の問題集と受験自治体の過去問、**教職支援センターの論文文講座、大学実施の外部業者講座**に取り組みました。2次は**教職支援センターの人物評価試験対策指導**で面接練習をしました。

③これをすれば合格するという事はないと思います。教員になりたいという気持ちを常に大事にして、**できることは何でもやって教員採用試験に臨んでください！**



新潟県
栄養教諭
(現職)

Hさん

①ボランティア活動での生徒の言葉「給食の時間が一番楽しい！」をきっかけに、子どもたちの活力ある毎日のためのサポートを食育を通して行いたいと思ったからです。

②1次は過去問3～5年分取り組み、**大学の外部業者講座**を受講しました。2次は模擬授業を重点的に、自分なりの**模擬授業ノート**を作成し、実際に声に出して練習しました。

③**今いる環境や、先生方、友人、先輩との繋がりを大切に、たくさん学んで力をつけてください。**



お知らせ/今後の予定②

- ▶ **イベント・説明会**
- 1～3年生（教採受験予定者）対象：埼玉県教育委員会による教員採用選考検査説明会（12月20日（金））
 - 1～3年生対象：教員採用試験出願書類作成指導（2月下旬）
 - 4年生（教育職員一括申請者）対象：教育職員免許状授与（3月17日（火）卒業式会場にて）
 - 3～4年生（教採受験者）対象：新潟県・新潟市教育委員会による教員採用試験選考検査説明会（4月下旬）

- ▶ **学内模擬試験**
- 実施予定は次の通り。場所：D204
- | | |
|-----------|--------------|
| 12月25日（水） | 東京アカデミー第1回模試 |
| 2月18日（火） | 東京アカデミー第2回模試 |
| 4月1日（水） | 協同出版第3回模試 |
| 4月25日（土） | 東京アカデミー第3回模試 |

編集後記

教職という、児童・生徒を育み教え導く仕事に就くという目標のもと、日々学ぶ学生の姿に感化させられます。3年生後期から4年生となる時期にかけて、毎年学生は変身します。個人プレーより連携プレー、仲間を大切に！教職支援センターでは試行錯誤様々な仕掛けを本気で検討しています。学内では学習支援センターでも一般教養の補助学習支援や敬語・お礼状の書き方など各種セミナーも開催されています。学生の皆さんには是非様々な機会を利用し、自分のものにしていただきたいと思います。本号でインタビューで登場いただいた皆さんは、各機会を自分のものにした方々です。個々の意識改革の一助としても教職支援センターにお気軽に足を運んでみて下さい。次号は2020年5月発行予定です。チーム教職教職員による「あとがき」の連載が始まります。お楽しみに。（事務局 野澤）



新潟医療福祉大学 教職支援センター ニュースレター

2019年12月5日発行

発行 新潟医療福祉大学 教職支援センター運営委員会
〒950-3198 新潟県新潟市北区島見町1398番地
お問い合わせ

✉ E-mail : kyoshoku@nuhw.ac.jp

🌐 ブログ : <http://nuhw.blog-niigata.net/kyoshoku/>

🐦 Twitter : @NUHW_kyoshoku

📘 Facebook : 【卒業生向け】


